

「心に残る文化財子ども塾」活動の様子～浜田市立第三中学校～

1. 活動の概要

令和2年7月14日（火）、浜田市立第三中学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。活動内容は勾玉作りと火起こし体験です。まず、第三中学校周辺の遺跡を紹介し、自分たちが住んでいる地域の歴史について学びました。一つの住居跡から一括で出土した土器や石器を見てもらい、当時の生活の様子を想像してもらうことができました。

勾玉作りでは、まず島根県における玉作りについて勉強しました。島根県では玉作りが弥生時代から盛んであり、現在も玉製品がお土産品として人気がある理由を知ってもらうことができました。実際の玉作り体験では、様々な道具を使ってきれいな丸みを出そうと頑張っていました。

火起こし体験では、マイギリ式に挑戦しました。天候が心配されましたが、8名のうち1名の生徒が火を起こすことができました。現在では簡単に起こせる火も当時はとても大変な作業だったと身をもって感じてもらうことができました。

2. 活動の様子



学校のある日脚町周辺の歴史についての勉強です



きれいに丸くできるかな？



先生も一緒に体験



火をつけるのは大変！

3. 子ども塾を終えて

① 児童の皆さんから

- ・まがたま作りが上手にできてよかった。
- ・火起こしでけむりが出てよかった。
- ・火起こしのところでけむりが出たけどぜんぜん火を起こせなかった。

② 担任の先生から

- ・本物の教材に触れ、自分たちの地域の歴史の勉強を通して昔の人の生活が今につながっているという実感を持つことができました。
- ・実際の体験活動をすることで楽しんで歴史の学習をすることができ、これから興味・関心を持って取り組むきっかけになりました。
- ・反省点として、次回はゆっくりじっくり取り組める時間設定にしていきたいと思いました。

③ 埋文センターから

- ・学校の周辺にも多くの遺跡があることを知ってもらうことができ、よかったです。
- ・勾玉作りでは上手くできないところもお互いに教えあうなど協力してできていて感心しました。
- ・火起こし体験では火が付けられず悔しそうにしていた生徒さんもいて、もう少し時間をとってあげられたらよかったと思いました。